

これみ
週刊「考歴民」 No5 2021.4.26

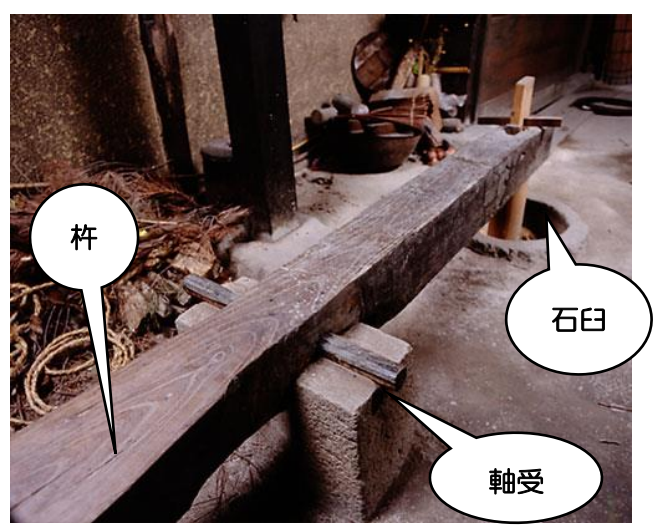
交野古文化同好会

考古・歴史・民俗の頭文字を取って考歴民（これみ）と名付けました。

^{からうす}
「唐臼地蔵」と呼んでいるが

「じろう」ともいわれています

唐臼とは、うすを地面に埋めて、杵の一端を足で踏みながら、他の一端を上下させて穀物をつくもの。ふみうす。



足で踏む重い杵の軸受けに、地蔵石仏をかま
せてきたという驚くべき事実の名残りだ。



野辺橋の板碑二尊仏（星田）

地蔵の舟形石は、とがらないまでも山形が普通である。石の先がまるくへこんでいるもの、そのくぼみが仏の顔食い込んでいるものさえある。



正規の軸受け（まち中で見ることが）



この様に唐臼の杵の心棒受けに地蔵を使うことを「じろう」とも呼ぶらしい。じろうとは地蔵の舌足らずだったのかも知れませんね。私たち交野では「唐臼地蔵」とよんでいます。あなたは、どちら派

次号 5/3 日